

第95回定時社員総会議事録

一般社団法人 海洋会

1. 日 時 平成27年6月19日 15:00～16:40
2. 場 所 東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル8階会議室
3. 議 案
第1号議案 定款の一部改訂について
第2号議案 平成26年度事業報告並びに決算報告及び財産目録等の承認について
第3号議案 平成27年度事業計画案並びに収支予算案
第4号議案 理事改選及び監事改選について
報告事項 平成27年度社員選出名簿
特別会員の推薦について

4. 出席者 (50音順、敬称略)

社 員

池上 二郎	石津 則昭	石田 隆丸	井手 祐之	稲石 正明
今津 隼馬	今村 洋一	岩本 圭二	岩本 勝美	江川 央生
岡本建之介	奥野 健司	甲斐 定彦	門野 英二	神谷洋一郎
河原 健	神田 一郎	菅野 正弘	岸本 宗久	北里 英昭
久古 弘幸	清田 裕祥	久門 明人	桑田 守	小暮 晶一
小島 茂	斎藤 徹郎	塩崎 雅敏	杉山 桂	鈴木 三郎
高瀬 敏一	高橋 孜	豊田 耕治	成毛 克彦	根本 正昭
橋本 進	平山 誠一	藤井 照久	増田 恵	松崎 光男
宮野 義広	武藤 宏二	村上 俊一	森本 靖之	矢野 経征
山崎 祐介	山谷 周二	山本 勝		

監 事

高橋 正夫 長嶺 祐二

オブザーバー

国土交通省海事局海技課船員教育室長 阪本 敏章

5. 審議の結果

(1) 開会の挨拶

はじめに会長から以下の通りの挨拶があった。「本日は、ご多忙のところ、また、遠路ご出席いただきありがとうございます。議題は予め会誌「海洋」5月号にてご案内したとおりです。本日は第95回定時社員総会議案書をお手元に用意しております。これから円滑な議事の進行につきまして、宜しくご協力お願い致します。また、今回は定款の一部変更も提案されています。この議決は総社員の議決権の4分の3以上(委任状を含めて69票以上)となっていますので宜しくお願いいたします。」

(2) 国土交通省海事局海技課船員教育室長 阪本敏章様ご挨拶

続いて、阪本敏章様からお祝辞を頂いたほか、国交省の最近の動きとして「海の日のパラレルイベント」「海技教育機構と航海訓練所の統合」について説明を頂いた。

(3) 議長の選出について

議長選出について、定款第21条の規定により会長一任を取り付け、出席社員の中から久古弘幸氏を指名し承認された。

(4) 定足数及び議事録署名人

事務局から、本日の総会は、社員総数91名のところ出席者47名、委任状35名、合計82名で、定款20条の規定により、本社員総会は成立していること並びに高橋監事と長嶺監事が出席していることが報告された。

(注：第2号議案の段階で、社員3名が参加し出席者50名になった)

次いで、議長は、定款25条の規定により本理事会の議事録署名人について、社員の中から高瀬敏一氏及び池上二郎氏を指名し了承された。

(5) 議案の審議について、

配布資料の確認後、議案の審議に入った。

第1号議案 定款の一部改訂について

事務局から配布資料に基づき、次の事項について説明があった。

- ① 定款7章（議事録）の第42条2において、「出席した理事及び監事は、…」の文言を「出席した代表理事及び監事は、…」に変更したい旨の説明があった。

他の一般社団法人でも採用されている一般的な記述であって、これによって手続きがスムーズになると期待される。

(質疑応答) 特になし

その後、議長が本議案について賛否を諮ったところ、全員異議なく、承認された。

なお、議決には総社員の議決権の4分の3以上（委任状を含めて69票以上）が必要で、票決の結果は次の通りであった。

挙手による賛成は		賛成 47名
委任状による賛否は	豊田会長あて	賛成 7票
	議長あて	賛成 25票
	専務理事あて	賛成 3票
	合計	賛成 82票

第2号議案 平成26年度事業報告並びに決算報告及び財産目録等の承認について

事務局から配布資料に基づき、次の事項について説明があった。

- ① 平成26年度事業報告について、事業及び会務の執行状況
② 平成26年度決算報告について、貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表及び財産目録の主要科目決算状況

なお、②に関して、今後、一部の科目について、やむを得ない事情により振替等の処理が必要になった場合は、その処理については会長に一任することが了承された。

引き続き、監事を代表して高橋監事から

「平成26年度における貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表及び財産目録並びに会の業務執行状況について、5月11日海洋会本部において長嶺監事と私、高橋が監査したところ、何れも適正であることを確認しましたので、報告致します」との報告があった。

(質疑応答)

質問：①この十数年間に両大学ともいろいろな学科ができたが、大きく航海、機関、物流があつて会員はどれくらいの比になっているのか変遷を知りたい。新しい学科の人も海洋会に入ってくれていると期待している。②会計報告の収支計算書で役員報酬など事業費と管理費に分かれている、この違いを知りたい。

答え：①について、大学の先生の尽力があつて、東京の場合は准員という形で漏れなく入会してくれている。②について、実際の支出を実施事業（公益目的）会計、収益事業会計、その他の会計と法人会計などに寄与度に応じてあらかじめ定めた比率で分けて計上している。実施事業（公益目的）会計の支出は内閣府に報告することになる。

その後、議長が本議案について賛否を諮ったところ、全員異議なく、承認された。

第3号議案 平成27年度事業計画並びに収支予算案について

事務局から配布資料に基づき、次の事項について説明があった。

- ① 平成27年度事業計画案について、基本方針、事業及び会務の主要事項
- ② 平成27年度収支予算書内訳表案について、主要収支科目の積算内容及び前年度との対比
なお、②に関して、今後、一部の科目にについて、やむを得ない事情により振替等の処理が必要になった場合は、その処理については会長に一任することが、了承された。
- ③ 議案書P36、平成27年度収支予算書の末尾にある前期繰越収支差額が空欄になっている。
既に承認いただいた決算（P13 末尾）の次期繰越収支差額13,861,511をここに記入いただいて、P36次期繰越収支差額は10,618,708になる。

(質疑応答)

質問：神戸に対して多額の母校支援をしている。それにもかかわらず昨年度准員入会者がゼロであるのはどういうことか。

答え：海洋会は東京・神戸の連合同窓会であつて、神戸大学海事科学部の同窓会とは認められないというのが大学の立場で、現在は神戸に海神会をつくっている。結果として入学時に学内での勧誘が困難であつて、このような結果になった。神戸支部として、練習船での機会などを利用して外から勧誘を続け、昨年度は10名弱の正会員を獲得している。

質問：それでは、同窓会といえないのではないか、神戸では准員の入会を勧めるという立場はなくなることになるが、それでよいのか。

答え：海洋会として尽力しているが、神戸の若い会員が入ってこない現状にある。これから更に努力が求められるが、その結果、先々どうなるのかは将来考えることで今の議論ではないと判断する。

その後、議長が本議案について賛否を諮ったところ、全員異議なく、承認された。

第4号議案 理事改選及び監事改選について

事務局から配布資料に基づき、次の事項について説明があった。

- ① 定款27条により総会において理事及び監事を選出すること、また26条により理事の定数15名以上20名以内、監事の定数は2名であること。
- ② 各推薦候補は、役員選出規程に従い、役員推薦委員会から全会区選出理事候補者13名、支部区については理事候補7名が推薦されたこと。
- ③ 任期4年の監事については、今年度が改選時期で、役員推薦委員会から監事候補者2名が推薦されたこと。

(質疑応答) 特になし

その後、議長が本議案について賛否を諮ったところ、全員異議なく承認され、被選任者は席上で承諾した。

(理事20名)

赤峯 浩一	石田 隆丸	石津 則昭	井手 祐之	今村 洋一
岩本 勝美	岡本建之介	鬼塚 雄介	門野 英二	河原 健
神田 一郎	久門 明人	小島 茂	鈴木 三郎	高橋 孜
根本 正昭	藤井 照久	増田 恵	山崎 祐介	山本 勝

(監事 2名)

甲斐 定彦	長嶺 裕二
-------	-------

各議案審議終了後、事務局から下記事項について報告を行った。

(報告事項)

- ・平成27年度社員選出名簿
- ・特別会員の推薦について

議長は16時40分に閉会を告げた。

平成27年 6月19日

定時社員総会議長 久古 弘幸



本定時社員総会に出席し、議事録の通りであることを認める。

議事録署名人 高瀬 敏一



議事録署名人 池上 二郎



(配布資料)

第95回定時社員総会議案書

- ① 定款の一部改訂について
- ② 平成26年度事業報告書並びに決算報告書について
- ③ 平成27年度事業計画書案並びに収支予算書案について
- ④ 理事改選及び監事改選について